

【食品安全フォーラム in とやま 副知事挨拶】

皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきました県副知事の齋田でございます。

大変、さわやかな秋空に立山連峰が美しく映えております。本日、このように多くの皆様方にご参加をいただきまして、「食品安全フォーラム in とやま」を開催できますことは誠に喜ばしい限りでございます。ご参集いただきました皆様に心からお礼を申しあげたいと思います。

また、本日ご講演をいただきます食品安全委員会の小泉直子委員、それから厚生労働省の中林圭一大臣官房参事官には、大変ご多忙のなかご出席いただいております。深く感謝申し上げます。

さて、近年、食品の加工技術や貯蔵技術、そして輸送技術が進歩いたしました。これに合わせて食品流通の広域化や国際化が進んでおりまして、私どもの食生活も大変豊かになったと思っております。

一方、輸入食品の残留農薬でありますとか、違法な医薬品成分を含みます「いわゆる健康食品」これなど食をめぐる事件、事故が相次いで発生いたしております、消費者の皆さんの食品の安全性に対する関心は、ますます高まってきているというふうに思っております。

こうしたなか、去る5月29日の改正食品衛生法の施行によりまして、いわゆる残留農薬等のポジティブリスト制度が導入されました。食品の安全確保に関する規制が一段と強化されたところでございます。

また、県といたしましても、本年の3月に富山県食品安全基本方針を公表いたしました。この基本方針に基づき、食の安全に関する施策を総合的に実施し、県民の皆様の安全で豊かな食生活の確保に全力で取り組んでいるところでございます。

食品安全の問題に適切に対処していくためには、何よりも生産や加工、流通、そして消費に関わっておられる全ての方々が、食品の安全確保に対する理解と知識を深めていただいて、しっかりと行動していくことが極めて大切であると思っております。

本日開催いたしますフォーラムでは、身近な食品を例にとり、科学的知見に基づいたリスク評価と、それに対応するリスク管理の事例についてご講演いただくとともに、ご参加いただきました皆様との意見交換を行うことといたしております。

どうか皆様方には、本日のフォーラムを契機として、食品の安全性の確保、並びにその対策についての理解を深めていただきたいと存じます。

終わりに、このフォーラムの開催にご協力いただきました食品安全委員会並びに厚生労働省はじめ、関係の皆様には深く感謝申し上げますとともに、ご出席の皆様のご健勝、ご活躍、そしてご多幸を心からお祈り申しあげまして、開会にあたってのあいさつとさせていただきます。どうか本日は、よろしくお願いいたします。